

就職活動は どんなスケジュールでしたか

学部3年の春から、就職サイトをチェックしたり、業界地図などの参考書籍を購入して情報収集をスタート。同時に、大学の就職相談を利用したり、就活を通して出会った人たちに意見を聞いたり、説明会に参加するなどして、多方面から生の情報を得ることも欠かさずに行っていました。しかし、方向性がなかなか定まらず、就活に本腰を入れたのは学部4年の春に参加した1丁企業のインターンシップ終了直後の5月。その後、積極的な説明会参加や、エントリーシート作成を行い、最終的に本命と思っていたダイキン工業から内定をいただきました。

志望業界と内定先は

研究室で取り組んでいた「室内気流のシミュレーション」が活かせる空調事業。または、授業で興味を持った画像処理などの映像事業を展開している企業を志望していました。具体的には、総合電機メーカーやOA機器・印刷・空調メーカーなどで



す。内定をいただいたダイキン工業は、説明会に参加した時点で「仕事」にも「人」にも惹かれました。空調事業をメインとしながらも、実は映像に関わる事業にも取り組んでいて、私が挑戦してみたいことに見事にフィットする会社だったので。さらに、ゆくゆくは海外でも働いてみたいというビジョンを持っていたので、グローバルにビジネスを展開している会社だった点も「働きたい!」と思えたポイントでした。ダイキン工業は女性技術者も活躍していますし、地球温暖化を背景に空調ビジネスの将来性はとても高い。ビジネスパーソンとして長く働けると感じた点も魅力になりました。

【就活データ】

- 就活開始：2014年5月
- 就活終了：2015年8月
- 志望業界：メーカー（総合電機・OA機器・印刷・空調）
- エントリー：22社
- 面接社数：2社
- 内定社数：2社
- 内定先：ダイキン工業株式会社

Case 01 活動体験談

「強み」と「やりたいこと」を整理すれば、自ずと道が見えてくる

お茶の水女子大学 理学部 情報科学科 4年 尾崎 奈保

就職活動で一番苦労したことは なんですか

就職か、大学院への進学か。就活するのであれば、文系就職か、理系就職か。方向性が定まらず、大いに悩みました。就活を振り返ると、これが最大の苦労だったと思います。どうしようか思い悩んでいる中、物は試しとベンチャー企業のインターンシップにエンジニアとして参加しました。同じインターン生と切磋琢磨しながら、苦手だったプログラミングも徐々に上達し、インターンを通して「働くことの楽しさ」を感じることができました。インターンシップ後は、霧が晴れたように理系就職に舵を切り、就活を積極的に進めていきました。

理系ナビのサービスはいかがでしたか

実は、就活のなかで最も有意義に感じたのが「理系女子のためのキャリアデザインセミナー@cafe」でした。参加者が女性のみだったので、質問がしやすい、普通のセミナーよりも企業理解を深めることができ

ました。開催地は代官山でお洒落な場所です。雰囲気も良く、プランケットなどのお土産もいただけ(笑)、非常に満足度の高いイベントでした。

これから就活に臨む読者への アドバイスをお願いします

当初は華やかそうに見える文系職に絞って情報収集していましたが、そもそも自分は数学が好きであることからエンジニアが向いていると考えなおし、最終的に理系就職を選びました。今振り返ってみると、結局は「何をやりたいのか」が重要だと思っています。本当にやりたいこととできれば、面接でポロが出ますし、私の場合はエントリーシートすらなかなか書けません。逆にやりたいことであれば、一瞬にしてエントリーシートを書くことができたのです。面接も考えていることをそのまま伝えれば良いので、言葉が詰まるということはありません。ですので、就活を始めるにあたって、まず自分自身が「何に興味あるのか」を先入観にとらわれず広く見て、方向性を決めてほしいと思います。

就職活動は どんなスケジュールでしたか

活動を始めたのは学部3年生の夏で、WEB系企業をチェックし、インターンシップに応募しました。自分の行きたい企業の方向性が決まっていたのでHPを調べて応募し、クックパッドが実施していたモバイルアプリの開発に取り組める5日間のインターンシップに参加しました。

その後は、エントリーを開始している企業がないか、11月くらいから志望する企業のサイトを週に一度くらいチェックし、興味を持った2社にエントリー。最終的に第一志望だったクックパッドから内定をいただきました。

どんな業界や職種を志望しましたか

私の専攻は化学なのですが、昔からコンピュータが好きでエッセルの自動化などをするうちに、何十時間もかかっていた作業を数秒で終わらせることができるプログラミングの力に惹かれ、IT業界でエンジニアになりたいと思うようになりました。

中でも、一般消費者向けのサービスを自社で作っているWEB系企業で働きたいと考えていました。

私はアルバイトで英語言語を使ってプログラムを組むことが多かったのですが、クックパッドもPCでサービス構築しており、憧れの企業の一つでした。同社のインターンで指導担当となったエンジニアは技術水準が非常に高く、大きな刺激を受けました。さらに、ユーザーファーストの視点が全社で徹底されていて、「どうすればもっとユーザーが使いやすいくなるのか」「そもそもユーザーに求められている機能なのか」といったことをエンジニア全員が



理系の就職

case
02

自分が本当は何をやりたいのかをしっかりと考えよう

横浜国立大学 工学部 物質工学科 4年 長 俊祐

【就活データ】

- 就活開始：2014年8月
- 就活終了：2015年3月
- 志望業界：IT
- エントリー：2社
- 面接社数：2社
- 内定社数：1社
- 内定先：クックパッド株式会社

非常に強く意識していたことにも驚かされました。「ここで働けば、ユーザーの役に立つものづくりができる」と感じ、志望度がさらに高まりました。

就職活動で一番苦労したことはなんですか

選考試験で出題されたプログラミングの問題が難しかったですね。「こういう動きをするプログラムを書け」といった問題がいくつか出るのでありますが、難易度が高く、どうしても解けない問題もありました。プログラミングの問題は事前に準備のしようがないので、普段からどれだけコードを書いているかが問われます。私は情報系の専攻ではないので、有名なプログラマのツイッターから情報収集したり、アルバイト先でプログラミングスキルを磨くように意識していました。

就職活動で大切に感じたことは

面接は緊張しましたが、自分の考えや想いを、過剰に繕うことなく伝えようと思っていました。嘘をついて入社しても、働き始めてから苦しむだけなので、

言いたいことを言おうと。それで駄目ならしょうがないと割り切って臨みました。結果的に、自分のやりたいことを自分の言葉でしっかり言えたことが評価されたのではないかと感じています。あとは、即答する必要はないので、一息ついて落ち着き、考えてから話すよう心がけました。

これから就活に臨む読者へのアドバイスをお願いします

私は大学の専攻とは異なる業界に絞って就活をしましたが、それでも第一志望の企業から内定を獲得できました。似たような状況で不安になってしまいう方もいるかもしれませんが、自分のやりたいことを突き詰めて考え、そこに行くためにはどうすればいいのかを徹底的に考えれば道は拓けます。私は、自分が本当に何をやりたいのか、どんな環境であれば楽しく働けるのか、といったことをじっくり考えました。周囲がやっているから就活しなきゃということではなく、まずは自分が何をやりたいのかをしっかりと考えてみてください。

就職活動は どんなスケジュールでしたか

修士1年の6月に理系ナビと外資就活ドットコムに登録し、サマーインターンシップの情報収集を始めました。サマーインターンシップに参加してから年末くらいまで目立った企業の動きがなかったため少し不安でしたが、早期に採用活動を行う企業の説明会が年明けくらいから始まり、3月に1社から内定をいただきました。志望企業の内定は8月以降だったので就活を続けましたが、心理的にはかなり楽になりました。常にスケジュールがびっしりというわけではなかったのですが、就活期間は1年以上にわたり、修士2年の夏ごろは修論に向けての気持ちの切り替えが難しかったですね。

志望業界と内定先は

専攻している数学を活かせると考え、アクチュアリーとクオンツを志望していました。両方のインターンシップに参加したのですが、クオンツのプログラムでは取り組んだ課題に対して社員の方から評価していただき、



「この仕事は自分に向いている」という手応えを得られました。内定先の決め手として、会社の風土がよく、魅力的な先輩社員と一緒に働きたいと思える人が多い点がいいと考えました。また、海外での活躍のチャンスがあることも魅力的でした。

理系ナビのサービスはいかがでしたか

理系ナビの情報誌は必ず読んでいましたが、中でも金融専門職の紹介記事はまとまっていてわかりやすく、クオンツの仕事理解に役立ちました。理系ナビが主催するクオンツやアクチュアリーの職種研究セミナーにも参加しましたが、仕事理解につながったのももちろん、同じ職

【就活データ】

- 就活開始：2014年6月
- 就活終了：2015年8月
- 志望業界：金融
- エントリー：10社
- 面接社数：9社
- 内定社数：3社
- 内定先：みずほフィナンシャルグループ Global Marketsコース

Case 03 活動体験談

入社5年後、10年後、どのように活躍できるのかを考える

東京大学大学院 経済学研究科 金融システム専攻 修士2年 中尾 俊策

種を志望する仲間と出会う場となったことも大きかったです。**就職活動で一番苦労したことはなんですか**

就職活動のスケジュール変更で先輩たちの話もあり参考にならず、大変でした。そのため就活仲間とのネットワークが貴重な情報源でした。同じ業界や職種を志望している就活仲間を作ることは就活を進めるうえで重要だと思います。

その他には、エントリーの取捨選択も難しかったですね。エントリーし過ぎてその後スケジュールや情報管理の面で苦しくなるので厳選しましたが、かなり悩みました。先輩社員の話などを通じて、入社5年目までにどう過ごせるか、10年目以降はどんな形で会社に貢献できているか、といったキャリアプランを重視した上で判断しました。

就職活動で大切だと感じたことは

面接では「これを話そう」とあまり準備しすぎると必要以上に話し過ぎたり、「あの質問来てないな」とか余計なことを考えて緊張してしまうと思ったので、

必ず聞かれるような長所や趣味などは答えを用意しつつ、それ以外は頭をからっぽにして臨むようにしていました。面接前は音楽を聞くなど、リラックスして臨むようにしました。

ただ、会社ごとの社風に合わせて面接での受け答えは必要だと感じました。例えば、趣味のエピソードにしても、くだけた話がウケのいい企業と、真面目そうな話をしたほうがいい企業があるので、雰囲気に合わせて話す内容を変えるようにしていました。その他に大切だと感じたのは、就活時期だからと気負いすぎないこと。友人と遊ぶなど、息抜きも普段通り予定に入れてみてください。

これから就活に臨む読者へのアドバイスをお願いします

金融専門職などでは、理系の素養を学生に期待しているケースが多いと思いますが、理系としての評価のスタートラインは皆ほぼ一緒。それ以外の強みをアピールできるかどうか重要です。自分の「理系+α」の強みは何か、しっかり考えてみてください。

就職活動は どんなスケジュールでしたか

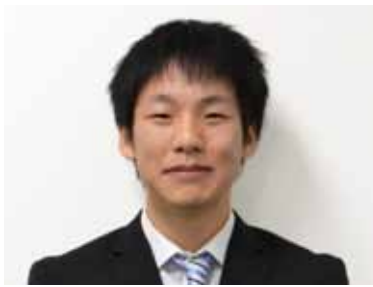
修士1年の秋ごろから専攻科主催の合同説明会などに参加していましたが、本格的に就職活動がスタートしたのは、国家公務員試験の出願が始まった修士2年の4月でした。5月末の1次試験、6月〜7月の2次試験に加え、東京都も併願していたため試験が続きましたが、8月に官庁訪問をして面接を受け、最終的に国土交通省から内定をいただきました。

どんな業界や職種を 志望しましたか

私の専攻は土木工学で、特に河川工学を研究しており、将来の仕事でも専門性を活かして人の役に立ちたいと考えていました。就活を意識し始めたころは建設コンサルタントなど民間企業への就職にも関心がありましたが、社会基盤をより根幹から支えることで世の中に貢献したいという想いが強かったため、公務員を志望しました。

志望先を決める上で強く影響を受けたのは、研究室の教授と

国土交通省職員の方が毎月行っている勉強会でした。河川の氾濫を防ぐための計画や、実際に起きた洪水被害と今後の対策など、実践的なテーマに対して毎回熱い議論が繰り広げられています。その議論を聞いて、現場の第一線で国民の安心・安全のために尽力している職員の方々の情熱に触れるうちに、国土交通省の仕事の魅力に引き込まれていきました。私もこの人たちのように強い使命感と誇りを持って社会を支えたい、必要とされる人材になりたいと思い、志望先を国土交通省に絞って決めました。



理系の就職

case
04

特別な対策よりも、日々の積み重ね

中央大学大学院 理工学研究科 都市環境学専攻 修士2年 松井 大生

【就活データ】

- 就活開始：2015年4月
- 就活終了：2015年10月
- 志望業界：国家公務員、地方公務員
- エントリー：4社
- 面接社数：2社
- 内定社数：2社
- 内定先：国土交通省（国家公務員総合職 技術系）

就職活動で一番苦労したことは なんですか

研究と就職活動を両立させることが大変でした。特に私の所属する研究室では、週に1回研究発表を行っているためコンスタントに忙しいです。その上、学会に論文も投稿していたため、5月〜7月は論文の執筆と普段の研究活動、そして公務員試験が重なり非常に苦労しました。両立のために工夫していたのは、隙間時間をうまく使うことです。研究室にいる時は研究に集中し、就職活動のことは通学電車の中や家に帰ってからするように心掛けていました。

公務員試験対策ですが、大学院での自分の専門性が活きる科目を選択することで、特別な対策は必要ありませんでした。官庁訪問での面接試験も特別な対策をしたわけではありませんが、研究発表や教授との議論など、人前で話す場を有効活用して、ロジカルに説明したり、結論から端的に話したりといったコミュニケーション力が鍛えられていたことが、良い評価につながったと思います。

これから就活に臨む読者への アドバイスをお願いします

公務員試験の勉強に関しては、なるべく早い段階で集中して行うのが良いと思います。公務員試験は合格から3年間資格が有効で、学部4年次の合格の資格で修士2年次に採用面接をして内定を獲得した方もたくさんいます。少しでも公務員に興味があるのなら、やっておいて損はありません。

また、官庁訪問など面接に不安を持っている方も多いと思いますが、模範解答を用意するのではなく、自分のバックグラウンドをきちんと理解して、それを基に自分自身の言葉で表現できることが重要です。そして、就活にも研究にも共通して重要なのが、日々何事にも粘り強く取り組むこと。諦めずに自分を信じ続けられれば、きっと成果が出ます。これは社会人になってからも大切な資質なのだと思えます。